

令和4年度 予算案可決 予算総額 3兆4,627億円

大阪市会は、2・3月市会(定例会)を2月10日から3月29日まで開きました。この定例会では、おもに令和4年度予算案について審議しました。予算案は、3月4日に各常任委員会に付託され、さまざまな観点から審査が行われました。3月29日の本会議で採決され、大阪IRに関する議案については附帯決議を付して可決されました(詳細は2面で紹介)。

本号では、令和4年度予算案などに対して、常任委員会で行われた議員の質疑と市の回答の一部を紹介します。

次の5月市会(定例会)の予定をお知らせします

5/13 本会議<開会> 5/18~20 各常任委員会 5/25 本会議 5/27 本会議<閉会>

大阪 市会だより

5月号
令和4年

編集と発行/大阪府会事務局政策調査担当
〒530-8201 大阪市北区中之島1-3-20
☎6208-8694 FAX 6202-0508
大阪市会ホームページアドレス
https://www.city.osaka.lg.jp/shikai/



2・3月市会

常任委員会



財政総務委員会

Q 大阪市の財政状況について

A 令和4年度当初予算は、令和3年度と比較すると歳入は市税収入が533億円の大幅増、歳出は公債費が137億円減となるなどにより収支が改善し、通常収支が均衡することとなりました。

また、今回の財政収支概算では、国の経済成長に係る見通しに基づいて市税収入などの増加を反映させた結果、令和10年度には地方交付税制度上の財源不足がなくなるため、不交付団体となる見込みです。その場合、税収の増減がそのまま財政に影響を与えるため、急激な環境変化にも対応できる財政運営が必要となります。

Q DX^(※)推進の人材確保などについて

A 令和4年度の職員採用試験に「デジタルに関する論文」の科目を新たに設け、デジタル技術を活用して業務プロセスや市民サービスを変革できる人材を確保します。さらに、高いデジタルスキルを有する外部専門人材を活用し、職員と協働して業務に取り組める体制を構築していきます。

また、生活者目線・事業者視点でデザインされた便利で快適なサービスの提供を目指し、役所に来られることなく手続きが完結できるような市民サービスの実現に向けて取り組んでいきます。

※デジタルトランスフォーメーション/デジタル技術を浸透させることで、人々の生活をよりよいものへと変革すること。

その他の質問項目

- 職員の採用・人材育成・職員の働き方改革について
- 未利用地の活用について
- 副首都化に向けた取り組みについて など

教育子ども委員会

Q ヤングケアラーへの支援について

A 令和4年度当初にスクールカウンセラー全員を対象に研修を実施し、ヤングケアラーに必要な視点を踏まえた支援が行えるようにするとともに、児童・生徒への日常的な声掛けなどで、子どもが家庭についてより相談しやすい環境につなぐことができるようにします。

また、寄り添い型相談支援事業では、もと当事者などが聞き手となり、相談を受けるピアサポートなどをSNSでも実施し、子どもたちが相談に向けて一歩踏み出せるよう取り組んでいきます。



Q 不登校児童・生徒への支援策や不登校特例校の設置について

A 小中学校に不登校対策のモデル校を指定し、魅力ある学校づくりや不登校の児童・生徒への早期対応の研究に取り組むとともに、教育支援センターを2か所増設し、学校以外での学習の場として不登校児童・生徒の受け入れを行っています。

また、不登校を経験した児童・生徒が落ち着いて過ごせる環境の充実も重要な要素であり、教育支援センターに実際に通う児童・生徒や保護者の声を参考にしながら、安心して生活できる環境を備えた不登校特例校の設置を検討していきます。

その他の質問項目

- 学校教育のICT活用事業について
- 医療的ケア児の受け入れ強化について
- 塾代助成事業について など

民生保健委員会

Q 保健所の体制強化について

A 新型コロナウイルス感染症が、想定を上回るペースで急拡大したことにより、データ入力が遅れるなど業務が逼迫したため、全庁的な応援体制をとりました。第7波に備えて業務全般の抜本的な見直しを行うため、令和4年度にデジタル統括室と保健所でプロジェクトチームを立ち上げ、さまざまな課題の見直しを進めていきます。

また、保健師を増員して各区に配置し、保健所と兼務とするなど、平常時と非常時に分けた、より迅速で柔軟な応援体制の構築に取り組んでいきます。

Q 長居障がい者スポーツセンターの建て替えについて

A 建て替え後の施設の機能などを検討するため、利用者や大阪市内の障がい者、アスリートなどへアンケート調査を実施しています。多様な障がい特性に配慮しつつ、ICTの活用によりサービス向上を図り、よりよい施設となるよう調査・検討し、外部有識者からの意見を聴取しながら令和4年度に基本構想を策定します。建設場所は、利用者の利便性を考えれば長居公園内の長居駅近くとなりますが、近辺の地下構造物への影響を考慮しながら検討を進めます。



長居障がい者スポーツセンター外観

その他の質問項目

- 高齢者施設の入所者や小児への新型コロナワクチンの接種について
- 大阪健康安全基盤研究所について
- 認知症への支援策について など

トピックス

駐日ウクライナ大使からのメッセージ

3月28日に全議員と市長・副市長が、議場でウクライナのホルスンスキー駐日大使からのメッセージを受けました。大使はオンラインで、大阪市による避難民受け入れなどに対する謝意などを述べられました。

後日、議員全員で、ウクライナ大使館へ支援金(83万円)を贈りました。



可決した意見書

意見書は可決後、国会および関係行政庁に提出します

- 医療福祉現場等における犯罪行為を防ぐために必要なデータベースの整備を求める意見書
- ガソリン等の価格の高騰から国民生活及び社会経済を守るため揮発油税等におけるトリガー条項の発動停止規定の削除等を求める意見書
- 生活保護停止中の方を福祉医療費助成制度の対象とする制度改正を求める意見書 (以上、3月29日)